

冬季研修講座

～通常学級に在籍している特別支援的配慮が必要な児童の支援について～

今年度も江別市立大麻小学校教諭の高杉祐之氏を講師に、「通常学級に在籍している特別支援的配慮が必要な児童の支援について」を目的とした講座をオンデマンド形式で行いました。講座には、胆振各地から多くの先生方が参加され、講義を通して研修を深めました。

参加者の声

具体的な事例を交え、分かりやすく説明していただき勉強になりました。自分の対応があまり効果的ではないことをしていることに反省しました。「よい対応」を参考にして、学校全体で困り感のある子供に対応していきます。



参加者の声

脳科学の視点から支援が必要な児童・生徒の対応について学ぶことができました。子供の視点や感情を読み取ることで、穏やかな生活の場を与えられるようにしていきたいと思えます。

参加者の声

特別支援学級に所属していなくても、特別支援を要する児童が教室にいる場合の対応について学ばせてもらいました。その中でまずはその子の実態を把握し、困り感を押さえておくことがとても必要だと改めて実感しました。

子どもたちは

大切にされなければならない

一人の例外もなく



所長挨拶

今年度の胆振教育研究所の主な取組は次の通りです。

- ① GIGA スクール構想や中央教育審議会答申「『令和の日本型教育』の構築を目指して」に関わる取組の一環として、今まで紙ベースで発行していた「所報いぶり」をデジタル配信にいたしました。
- ② 先生方のニーズに応える研修講座として、夏季は「Google Classroomを使ったリモート授業の方法」、冬季は「通常学級に在籍している特別支援的配慮が必要な児童の支援について」を開催いたしました。
- ③ 教育理論の実践化に関する研究と調査課題研究については、「個別最適な学びと協働的な学びの実践に向けた授業づくり」と「ICT機器の効果的な活用に関する調査～アンケート結果と実践例の紹介～」に取り組みました。年度末には紀要を発刊いたします。ぜひご覧ください。

いつまで続くかわからないコロナ禍ですが、学びを止めない胆振の先生方を支える胆振教育研究所でありたいと願い、今後も胆振の教育の発展と充実のために取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

胆振教育研究所長 立花 和実

研究紀要(233号・234号・235号)が 発刊されました

研究紀要

233号

研究委託校・実践校の研究 社会教育の実践

令和3年度胆振教育研究所の研究委託校・実践校の研究概要並びに社会教育の実践をまとめたものを掲載しています。

各校の児童生徒の実態や今日的課題を踏まえた研究となっております。私ども研究所員も共同研究員の立場で校内研修会・公開研究会に参加させていただきました。

先生方には、本研究紀要の各研究委託校・実践校の研究内容を参考にされ、自校の研修に役立てていただければ幸いです。



研究紀要

234号

調査課題研究 ICT機器の効果的な活用に関する調査 ～アンケート結果と実践例の紹介～

昨年度は、子供たちに情報活用能力の育成を図り、ICTを活用した教師の指導力向上のために必要と思われる校内体制、必要な環境整備、学習活動の充実の3点について調査研究を行いました。今年度は胆振管内の小中学校でGIGAスクール構想の実現に向けて1人1台端末の整備が急速に進み、ICT機器を効果的に活用するための校内支援体制や環境整備について各校で改善を進めているところだと思います。そこで今回は、胆振の各市町で使用している端末・アプリの紹介と、先進的にICT機器の活用に取り組んでこられた先生方の実践事例を掲載しています。自己の指導力向上にご活用いただければ幸いです。



研究紀要

235号

教育理論に関する研究 個別最適な学びと協働的な学びの 実現に向けた授業づくり

今年度は研究主題「個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業づくり」の1年次として、「個別最適な学びと協働的な学び」の基本的な理論とICTの活用に関する基本的な考え方についてまとめました。

本研究紀要を、校内研修をはじめ先生方の授業改善の参考資料としてご活用いただければ幸いです。

